





2020年度心理学科 在学生ガイダンス

心理学科は2003年設立！

	4年生 → 15期
	3年生 → 16期
	2年生 → 17期
	1年生 → 18期

法政大学文学部の教育目標とディプロマ・ポリシー

＜教育目標＞ 文学部は、以下に示すような人材を育成する。

1. 古今東西の文献・資料・情報を研究・調査することにより、広い視野・深い教養にもとづけ独創的な思考力を発揮できる人間。
2. 歴史・世界・社会の中で客観的に自らの位置を見定め、柔軟な感受性をもって他者を理解し、多様な価値観を公正に評価できる人間。
3. 当面する課題を検証し、解決策を考え、それを説得力をもって発信できる人間。

＜ディプロマ・ポリシー＞ 文学部は、所定を単位を修得し以下に示す水準に達した学生に対して「学士（文学）」を授与する。

1. 各専門分野の学問内容や研究方法を理解している、また、幅広い教養を備えている。
2. 自ら問題を発見し解決していく思考力や調査力を有している。
3. 自らの考えを論理的に表現できる文章力やプレゼンテーション能力を有している、また、他者と協力し議論しながら多角的に問題をとらえることができる。

文学部HP参照

心理学科の教育目標とディプロマ・ポリシー

＜教育目標＞ 心理学科では、以下に示すような人材を育成する。

1. 幅広い心理学の知識・技能を獲得することで、人や社会に対して多面的なかつ客観的に洞察することができる人間。
2. 心に関わるさまざまな問題を専門的な立場から検討でき、自らの力で新たな知識を生み出せる人間。
3. 的確なプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、グループ活動能力を有し、他者と協働しながら自分自身の持つ知識・技能を活用し、社会に向けて効果的に発信できる人間。

＜ディプロマ・ポリシー＞ 心理学科のカリキュラムのもと、所定を単位を取得し以下に示す水準に達した学生に対して「学士（文学）」の学位の授与を認める。

1. 人の認知について科学的理解をすることができる。
2. 人の発達について科学的理解をすることができる。
3. 観察・実験・調査を通して、心の機能を測定し、分析することができる。
4. 国内外の先行研究や社会的要請をふまえて、自ら課題を設定することができる。
5. 研究・学習成果を的確に他者に伝えることができる。
6. 研究・学習目標を達成するために、他者と協働することができる。

いちばん大切なこと

自分から行動しよう

「たたけよ！さらば開かれん」



成績確認と学生証シール

- 前年度までの成績確認（成績発表は2月末）
 - まだ確認していなければ、成績を確認してから履修科目を検討すること
 - Webで6/30まで確認可能。PDFファイルの通知書なのでデータ保存を推奨。紙の通知書配布はしない。
- 学生証裏面シール
 - 学費振込依頼書に同封して4月上旬に保証人宛に郵送
 - 古いシールをはがして貼り換えること

履修に関する注意

- 履修登録科目確認通知書を確認する
例) 登録したと思っていたが、登録できていなかった
- 進級・卒業に必要な単位を取る
例) 総単位数は満たしていたが、各科目系列で
要求されている必要単位数を満たしていない

自由科目8単位以上もお忘れ無く！

- 勝手な思い込みで、半年・1年を棒に振る人が**毎年います！**

【スポーツ推薦入学者】

- 履修のパターンが違います。SSI履修要項・講義概要に従ってください

履修に不安のある人は、自分で責任をもって
文学部事務に確認しよう

履修に関する注意：成績関係

2. 成績評価基準、GP換算および合否

素点評価する場合	素点評価しない場合	評価	GP	合否
100～90点	学習目標を満たし卓越した成績をあげた	S	4.0	 合格
89～87点	学習目標を満たし優秀な成績をあげた	A+	3.3	
86～83点		A	3.0	
82～80点		A-	2.7	
79～77点	おおむね学習目標を満たしている	B+	2.3	
76～73点		B	2.0	
72～70点		B-	1.7	
69～67点	最低限の学習目標を満たしたが不十分な点も見られる	C+	1.3	
66～63点		C	1.0	
62～60点		C-	0.7	
59～0点	学習目標を満たしていない	D	0.0	不合格
未受験、採点不能	未受験、採点不能	E		

履修に関する注意： 2年生

- 演習Iは春学期，演習IIは秋学期（卒業所要単位は各2単位）
- 指定された教員のクラスを自分で履修登録する（履修登録期間前に連絡のつくメールをなるべく早く登録して下さい）。
自動的には登録されないので注意
- 演習I, IIのクラス割に自分の名前がなかったら必ずこのガイダンス後に申し出ること→高橋（toshiha@hosei.ac.jp）
- 3年次の研究法（ゼミ）の希望調査は10月頃実施
 - BT11階心理学実習室前の掲示板を確認のこと
 - 提出期限に遅れた場合は，優先権を失う

履修に関する注意： 3, 4年生

- 研究法Iは春学期，研究法IIは秋学期
 - 2年間履修する。卒業所要単位は合計6単位。
- 指定された教員のクラスを自分で履修登録する
 - 自動的には登録されないので注意
 - 研究法I, IIのクラス割に自分の名前がない場合，
越智(kochi@hosei.ac.jp)まで至急申し出ること

※演習 I・IIを履修する必要がある3,4年生は，至急、越智までメールください(kochi@hosei.ac.jp)。

履修に関する注意： 3年生

- 卒業論文指導教員の希望調査は11月頃実施
 - BT11階心理学実習室前の掲示板を確認のこと
 - 提出期限に遅れた場合は、優先権を失う
- 原則として3年次と4年次では同じ指導教員の研究法を履修する。

履修に関する注意：4年生

研究法 I, II

- 研究法I, IIは卒業論文とは独立した科目！
 - 研究法I, IIと卒業論文の両方を履修登録すること。
 - 就職活動等で大変だと思うが、単位を取得するためには研究法I・IIへの出席が大事！

履修に関する注意: 4年生 卒論

- 履修登録とは別に「**卒業論文指導願**」を学習支援室システムを通して提出※詳細はHoppii内のWEB掲示板を参照
- 卒論の**仮提出**は、各ゼミ毎に設定されます。
- 卒論の**本提出**は、2021年1/12(火)と1/13(水)です。履修の手引きを参照。初日に出そう！
- 卒論の評価:**論文の内容**と**卒論発表会でのプレゼン**(1月下旬～2月上旬, 4年生は必ず出席のこと)の2つの要素で決まる。

4年生は大学院人文科学研究科心理学専攻の授業の一部を履修することができます

学部の卒業所要単位にならないので注意！

心理学専攻に進学すると、10単位を上限に大学院の単位として認定される。

認定されるには学院事務課に書類提出必要。

1. 文学部窓口で「受講許可願・履修理由書」もらい、記入
2. 履修希望の授業の1回目の授業の教室で「受講許可願・履修理由書」を提出し、許可をもらう
3. 文学部窓口にて院の担当教員に署名・捺印をもらった「受講許可願・履修理由書」を提出する
4. 後日「履修登録科目確認通知書」で確認をする

研究倫理

心理学科では、実験・調査を適切に行うために
倫理規定を設けています

授業や卒論で、実験・調査を行う場合、
この規定に沿う必要があります

詳細は「法政心理ネット」の「在校生諸君！」の
「卒論・修論・博論について、1. 倫理委員会に
おける審査について」を参照のこと。

→ガイドラインやチェックシート、提出書類の
ひな形などがダウンロードできます。

研究倫理

NEW !

倫理申請時に,

心理学科／心理学専攻実験室・実験機器・
備品等の利用規約の署名・提出

が必要になりました

履修を勧める科目(2-4年生)

- 心理学科専門科目
 - 心理学英語I・II
 - 学校心理学

※NIRSを使った卒論を目指す方は、生理心理学実習(秋)か、あるいはNIRS研究会での実習を必ず受講してください。

履修を勧める科目(2-4年生)

- 心理学特殊講義I(新規開講科目, 担当 島宗): pythonで行動解析します。詳しくはガイダンス動画をご覧ください。
<https://youtu.be/kyJSd3Adj10>



資格について

- 認定心理士(心理調査)
- 詳細はyosimura@hosei.ac.jp(吉村先生)

心理学科の施設案内

- ボアソナードタワー (BT) 11階:

心理学科専有の教室, 各種実験室, 助手の部屋

- 教員の研究室:

BT11階, 80年館, 富士見坂校舎に点在
(履修の手引き巻末参照)

- 掲示板:

Web掲示板とBT11階の実習室前の2カ所

掲示板はまめにチェックすること！見忘れは自分の責任になります！

心理学科の施設の利用

- 心理学実習室BT1100-1:

助手さん常駐→タブレットPC, 物品貸出
教員と学生との交流の場(飲食は別の場所で)

- 心理学実験室BT1100・集団実験室BT1104:

授業・会議時以外は自習スペースとして利用可
(原則として**事務助手の勤務時間中**)

- スタディールームBT1100-6:

大学院生常駐。3年生以上の学部生も利用可
(教員・院生との交流および自習の場)

共有スペースなので
お互い快適に使えるように心がけましょう

心理学科の備品の利用

【PCの貸し出し】心理学科の学生が利用できるパソコンには2種類あります。

心理学実験室常設分

教室の机に固定

→持ち出しは不可

授業で使用するためのものだが、自習時も使用可

【注意】 PC本体，マウス，コード類，ケース番号が一致しているか，必ず確認を！

心理学実習室のタブレット

実験室以外でPCを使いたいときなどに持ち出し可

コンパクトなタブレット式

貸し出しには学生証が必要
→利用方法は事務助手に

※原則は，BT11階での使用に限定

心理学科の備品の利用

【その他備品の貸出】貸出の際の手続きには、
物品の種類によって2種類の手続きがあります。

物品貸出表

- 書籍やストップウォッチ、レーザーポインターなどの物品の貸出は、物品貸出表に日付と名前を記入。
- 返却はその日のうちに。
- 原則**BT11階での使用**。
やむを得ない場合は事務助手に相談を。

物品借用願

- 検査器具など高価な物品の貸出は、「物品借用願」に記入。
- 貸出の期間は一週間で、期間を延長したい場合は期限前に更新手続きを。
- 学外での使用可。

20:00以降も使用できる 自習場所（授業期間）

- 外濠スタディルーム 1・7階 通常8:00～21:30
2～5階 通常8:00～20:30
- 富士見スタディルーム 2・3階 通常8:00～20:30
- 富士見ゲート1階 学生ホール
- 図書館 通常9:00～22:00
- ボアソナードタワー ヘリオス
- 富士見2階 情報カフェテリア



ピア・サポート

- ピア (Peer) とは…「仲間」の意味

＝同学年だけでなく、同じ大学に所属する、他学年・異年齢の人も含む広い意味。

誰もが成長する力をもっている！

誰もが自分で解決していく力をもっている！

人は人を支援するなかで成長する！

誰もが、サポートでき、される存在である！

- サポート (Support) とは 支援の意味

- ピアサポートとは 仲間が相互に支え合い、課題解決をする活動 ⇒ つながり、安らぎ、絆をつくり、思いやりのある風土を創りあげることができる。

ピアサポーターの活動

主な活動内容:

新入生歓迎会

履修講習会

スポーツ大会

ゼミ説明会

パソコン講習会

就職説明会

統計勉強会など



ハラスメントに関わる行動指針

法政大学は

いかなるハラスメントも許しません

セクシャル・ハラスメント，アカデミック・ハラスメント

◆ハラスメントの防止策◆

例) 2人で食事に行こうと誘われた

「あれ？」と思ったら、**きっぱり断る。理由はいりません。**

「その日はちょっと…」と言うと

「いつならいいの？」って追い詰められてしまいます。

→しつこい，対処できない場合には一人で悩まないで
教員・ハラスメント相談室に相談しましょう！

学生生活上の注意

- 飲酒ルールを守る，薬物に近づかない。
- 危険なサークル（政治系，カルト系，自己啓発系，マルチ商法系，ヨガ系など）に入らない。
- むやみやたらと個人情報をお教えない。
- 変だなと思ったら，
学生センター（外濠校舎）1階へ。

第46回を迎えました！

- 目的** NIRSを使って実験ができるようにする
- 活動** NIRSの基礎知識，機器の取り扱い，
研究論文の講読，実験実施など
- 実施日** 秋学期から
- 担当** 福田由紀 yfukuda@hosei.ac.jp

秋学期にBT11階実習室前に日程等を掲示します。興味をもってくれたみなさん，もう少しお待ちください。